

## 魅力ある専門高校をめざして

## 1. 専門高校に求められているもの

- (1) 産業界においては、著しい技術革新、産業構造の変化、求人数の減という状況があり、産業界が実際必要とする知識・技術と専門高校の教育の内容との間に隔たりが生じてきているのではないかという指摘もある。このような状況の中、専門高校には、生徒の職業観・勤労観や職業人に必要とされるスキルを高めるとともに、企業はもとより社会に貢献できる人材を育成することがこれまで以上に求められている。
- (2) 生徒が自己実現を図るためには、自ら実践できる体験的な学習の場を設けること、一貫した学習ができるように、小・中学校、大学及び地域との連携を図って基礎学力を身につけ、そしてマナーアップの支援を図ることが大切である。
- (3) 社会が激しく変化し、産業構造や就業構造が大きく変わりつつある中で、専門高校は、生徒の自己実現を図り、将来のスペシャリストを育成する役割を担っている。そのためには、各専門分野の基礎的・基本的な教育に重点を置くとともに、生徒が生涯にわたり自ら進んで学び続けようとする意欲や自己教育力を育成することが大切である。
- (4) 絶えず新しい知識や技術が生まれてくる現在の社会において、職業人として生きていくためには、基礎・基本のうえに立って、生涯を通じて新しい知識、技術・技能を学び続けることが重要である。そのためには、各分野の専門性を生かした資格取得や各種コンテストへの参加など、学習目標を具体的に提示して、学習意欲を喚起し、学ぶ喜びや学んだ内容の意義を実感させるようにすることが大切である。特に資格取得に関しては、資格を取得したという結果だけではなく、取得する過程において、達成感や満足感などの感動が生じ、さらなる向上心や豊かな人間性を育むことができる。また、こうした実績は学校の活性化と生活の自覚につながる。

## 【抜粋】

専門高校で育成すべき能力と態度について（報告）  
平成16年10月31日 島根県産業教育審議会

## 2. 職業系学科（系列）の基本的な考え方について

### 農業に関する学科

農業の各分野（食料供給・環境創造・バイオテクノロジー・ヒューマンサービス等）に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。

農業の持つ公益的機能、文化的役割、社会的意義等について理解させるとともに、人格の陶冶性・地域貢献・起業家精神等の農業の持つ教育力を活用することにより地域との連携を推進し、地域の活性化に貢献できる人材の育成を目指す。

実習作品・地域特産品の開発、生産、加工、販売等の一貫した実践等を通して、起業意欲等のチャレンジ精神を育む農業教育を推進する必要がある。

### 工業に関する学科

工業科においては、ものづくりを見据えた実践的実習・実験を重視し、基礎的・基本的な知識・技術の確実な定着を図り、生涯にわたり環境変化や技術革新に対応できる将来のスペシャリストを育成する。

同時に、地域産業界と連携した教育や資格取得などに主体的に取り組む教育を推進し、工業技術に携わり創造することに喜びを持ち、働くことを生きがいとする、感性豊かで地域に貢献できる技術者の育成を目指す。

### 商業に関する学科

商業教育では、学習の基礎・基本である「読み、書き、計算」を確実に身につけるため、普通教科による関連科目の充実を図るとともに、流通ビジネス、簿記会計、国際経済、経営情報、簿記会計の各分野の学習を通して、経済活動を理解する力、「情報処理」により記録やプレゼンテーションが出来る力、「簿記」や「ビジネス計算」などにより経済活動を数値化する力などを身につけさせることが重要である。

さらに、将来のスペシャリストとして、起業家精神の育成や生涯にわたっての学ぶ姿勢・意欲を身につけさせるとともに、国際社会の進展に対応した人材を育成する必要がある。

### 水産に関する学科

水産・海洋の各分野における、生産や流通、環境などに関する基礎・基本を重視しながら、海に関するスペシャリスト、プロとして必要とされるより高度な知識・技能を習得させる教育を推進し、水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解させるとともに、それらの諸課題を主体的、合理的に理解し、それらの産業の充実と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる必要がある。

### 家庭に関する学科（系列）

家庭科においては、衣食住や保育、家庭看護や介護に関する生活産業を担う資質や能力の育成を目指すとともに、子どもや高齢者をはじめとする生活者への理解と産業や職業に対する関心を持ち、生涯にわたって学び続けようとする意欲と態度、学び方などを身につけさせる必要がある。

### 福祉に関する学科（系列）

生活水準の向上に伴う健康への関心の高まりや生活様式・意識の変化により、国民の福祉ニーズは高度化、多様化するとともに、著しく増大している。このような状況の中、高齢者や障害のある人々を思いやる気持ちやいたわる気持ちなど、豊かな人間性を育む教育が一層重要となると同時に、高齢者、とりわけ要介護高齢者や障害のある人々の、自立を支援する、よりきめ細かな介護サービスに対応できる専門的な知識・技術を有する人材の育成と確保が不可欠となっている。